

自主企画・『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』に関する調査
『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』について“知っている”人は
今大会前の 51.3%から日本 vs サモア後の 62.4%へと、わずか1ヵ月で11ポイントUP!!

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石塚 純晃)は、2019年に開催する『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』に関する調査を実施しました。

本調査は、ラグビーワールドカップ 2015 イングランド大会中(日本vsサモア後)の10月5日~7日に、インテージ・ネットモニター“マイティモニター”のうち全国の20~69才男女11,013名を対象にインターネット調査を行いました。さらに、今大会前の9月8日~10日に行った調査と比較し、結果をまとめました。

調査概要

調査方法:インターネット調査

調査地域:全国

調査実施機関:株式会社インテージ

◆大会前調査

調査期間:2015年9月8日(火)~9月10日(木)

調査対象者:インテージ・ネットモニター“マイティモニター”のうち、20~69才男女個人52,421名

サンプル構成:

	TOTAL	20代	30代	40代	50代	60代
TOTAL	52421	7881	10150	11935	10229	12226
男性	26237	3948	5140	6061	5063	6025
女性	26184	3933	5010	5874	5166	6201

◆大会中(日本 vs サモア後)調査

調査期間:2015年10月5日(月)~10月7日(水)

調査対象者:インテージ・ネットモニター“マイティモニター”のうち、20~69才男女個人11,013名

サンプル構成:

	TOTAL	20代	30代	40代	50代	60代
TOTAL	11013	1596	2283	2633	2116	2385
男性	5490	799	1128	1289	1061	1213
女性	5523	797	1155	1344	1055	1172

※母集団の構成比は、弊社推計人口構成比を利用し、「エリア*性・年代構成比に合わせて配信」しています。

調査結果

現在開催中の「ラグビーワールドカップ 2015 イングランド大会」において、日本代表は史上初となる3勝を挙げながら1次リーグで敗退した「最強の敗者」としてラグビーの歴史に名を刻んだ。

日本代表の活躍に注目が集まり、国内でのラグビー人気が高まっていることから、2019年にアジア初の開催となる『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の認知浸透度を調査した結果、以下のことがわかった。

1. 『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の認知率～今大会前と大会中の認知率の変化

『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』を知っているか、TVや競技場で観戦してみたいかを、今大会前と大会中(日本 vs サモア後)に聴取し結果を比較した。

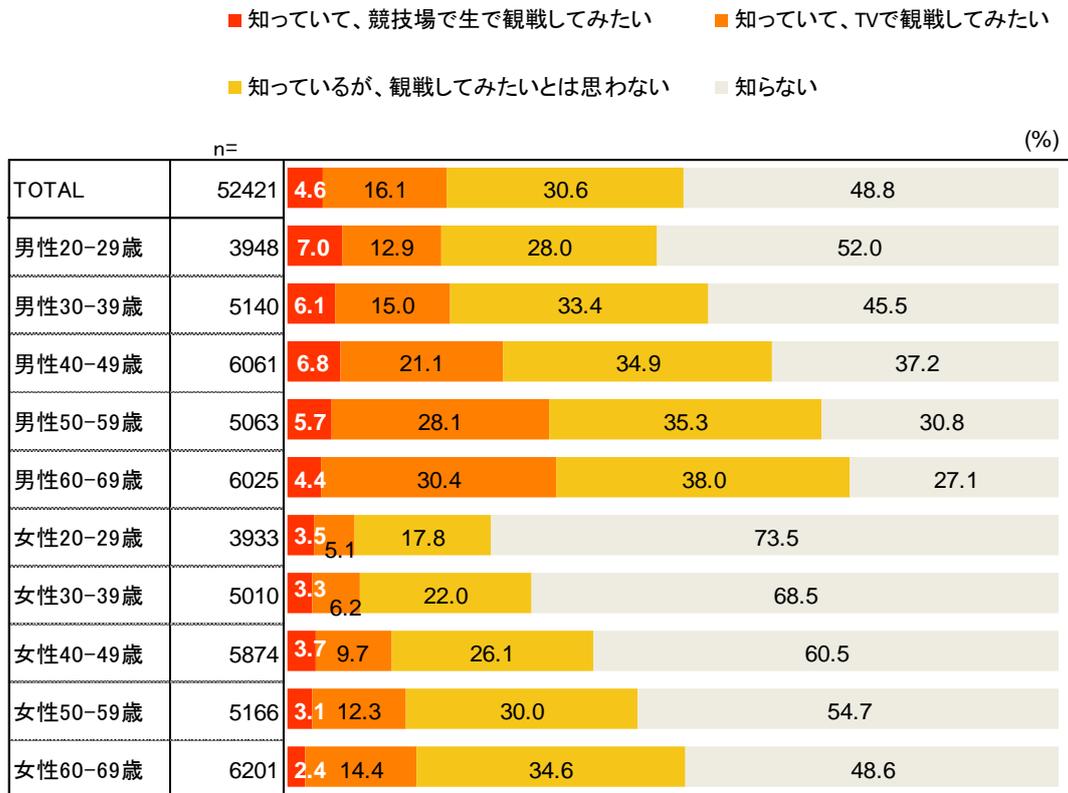
“知っている”(「知らない」と回答した人をのぞく)が今大会前の51.3%から62.4%へと、わずか1ヵ月で11ポイントUP。中でも「TV観戦してみたい」が16.1%から29.0%、「競技場で生で観戦してみたい」が4.6%から9.8%へと変化した。

性年代別にみると、女性の認知率がいずれも10ポイント以上上昇しており、特に、40～50代女性の認知が高まった。男性においてもTV・競技場観戦意向が高まり、特に40～50代男性では半数以上が観戦してみたいと回答していることから、今大会での日本代表の歴史的な快進撃が『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の認知度UPに貢献したことがわかった。

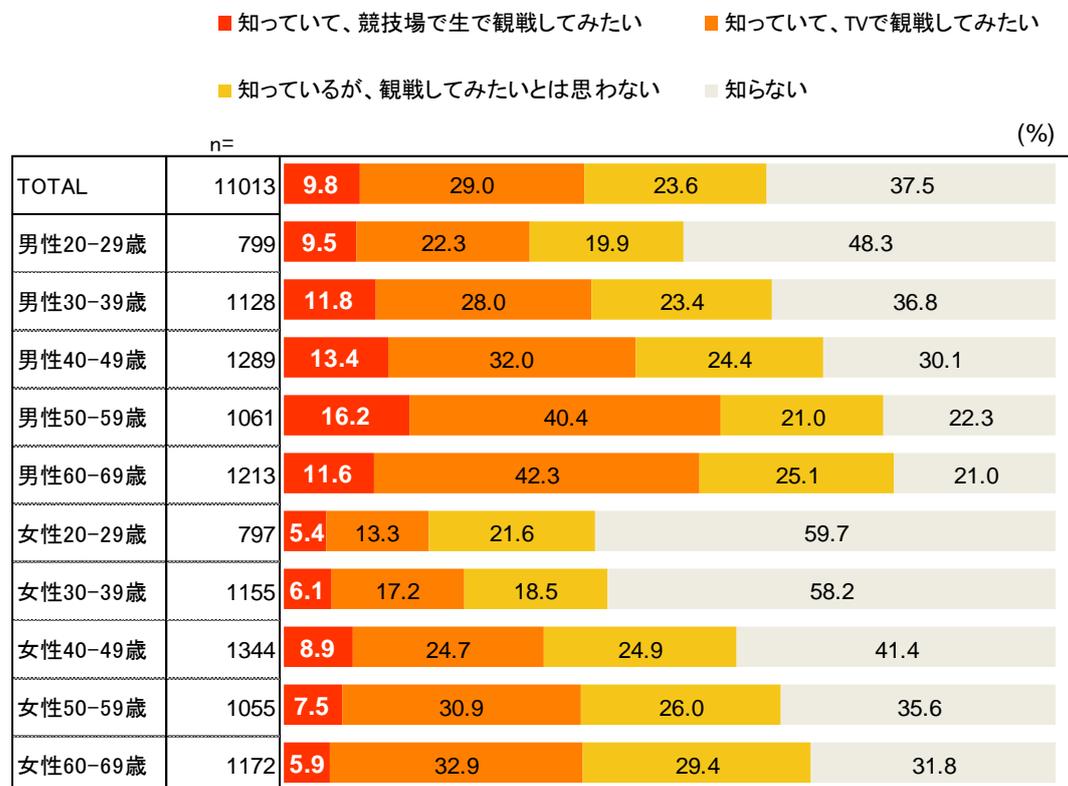
[表 1] 今大会前～大会中(日本 vs サモア後)の『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』認知率の推移

	今大会前 認知率	今大会中 認知率 (%)
TOTAL	51.3	62.4
男性20-29歳	47.9	51.7
男性30-39歳	54.5	63.2
男性40-49歳	62.8	69.8
男性50-59歳	69.1	77.6
男性60-69歳	72.8	79.0
女性20-29歳	26.4	40.3
女性30-39歳	31.5	41.8
女性40-49歳	39.5	58.5
女性50-59歳	45.4	64.4
女性60-69歳	51.4	68.2

[図 1-1] 今大会前の『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の認知率(単数回答)



[図 1-2] 今大会中の『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の認知率(単数回答)



2. 『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』およびラグビーに関する知識

『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』およびラグビーに関する知識で、知っていることを聞いた結果、「今大会で日本代表チームが南アフリカに勝利したこと」(55.5%)や、「現在、イングランド大会が開催されていること」(51.5%)は半数以上が知っている。

性年代別で見ると、ほとんどの項目で男性 40～60 代の認知率が高く、かつてラグビーが人気スポーツであった時期に青春時代を過ごした年代であることがうかがえる。

[表 2] 『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』およびラグビーに関する知識で知っていること

(複数回答 n=11013)

	%
ラグビーワールドカップ イングランド大会で日本代表チームが南アフリカに勝利したこと	55.5
現在、ラグビーワールドカップ イングランド大会が開催されていること	51.5
ラグビーは1チーム15人でプレーすること	38.0
ラグビーには「7人制ラグビー」という競技があること	28.1
2019年のラグビーワールドカップ日本開催が、オリンピック・パラリンピックの東京開催決定以前に決まっていたこと	25.0
「7人制ラグビー」が2016年のリオデジャネイロ五輪で正式種目として採用されること	23.1
2019年のラグビーワールドカップは、国内各地(12都市)で開催されること	10.7
「7人制ラグビー」男女日本代表チームのリオデジャネイロ五輪・アジア予選が11月に開催されること	4.3
1つも知らない	33.6

[図 2] 性年代別・『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』およびラグビーに関する知識で知っていること

(複数回答)

n=		ラグビーワールドカップ イングランド大会で日本代表チームが南アフリカに勝利したこと	現在、ラグビーワールドカップ イングランド大会が開催されていること	ラグビーは1チーム15人でプレーすること	ラグビーには「7人制ラグビー」という競技があること	2019年のラグビーワールドカップ日本開催が、オリンピック・パラリンピックの東京開催決定以前に決まっていたこと	「7人制ラグビー」が2016年のリオデジャネイロ五輪で正式種目として採用されること	2019年のラグビーワールドカップは、国内各地(12都市)で開催されること	「7人制ラグビー」男女日本代表チームのリオデジャネイロ五輪・アジア予選が11月に開催されること	1つも知らない
		(%)								
TOTAL	11013	55.5	51.5	38.0	28.1	25.0	13.1	10.7	4.3	33.6
男性20-29歳	799	47.4	42.7	30.2	30.2	17.5	13.9	8.0	4.4	39.3
男性30-39歳	1128	56.3	52.9	42.6	40.2	25.2	17.0	10.5	4.9	31.5
男性40-49歳	1289	65.1	60.9	59.0	45.4	30.5	19.3	16.2	6.3	22.9
男性50-59歳	1061	72.2	71.3	63.9	50.6	40.0	25.2	17.8	9.0	17.8
男性60-69歳	1213	71.9	69.3	60.8	44.0	43.4	21.6	20.1	8.4	16.7
女性20-29歳	797	36.0	29.1	12.5	10.9	8.8	4.8	2.8	2.3	52.9
女性30-39歳	1155	37.5	31.9	15.6	11.8	10.5	5.8	3.8	1.4	52.8
女性40-49歳	1344	47.8	43.8	25.0	15.3	18.4	7.3	7.3	2.2	41.1
女性50-59歳	1055	54.5	50.3	28.4	17.2	24.6	8.3	8.2	1.9	36.0
女性60-69歳	1172	58.2	54.3	31.8	11.8	24.6	6.1	8.4	1.9	32.5

■ Total +20pt 以上
■ Total +10pt 以上
■ Total -10pt 以下
■ Total -20pt 以下

3. 『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の開催地に対する認知

[ベース: 今大会中の調査において『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の認知率で「知らない」と回答した人のぞく]

『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』は、国内 12 の競技場・都市で開催される。そこで、1 の認知率で「知らない」と回答した人をのぞく、『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』を知っている人を対象に、開催地に対する認知を聞いた。

新国立競技場の代替会場となった「東京スタジアム」と、ラグビーの西の聖地として知られる「東大阪市花園ラグビー場」に関しては 20%前後が認知している。しかし、「1 つも知らない」が 57.1%と最も多く、開催競技場・都市に対する認知はまだ低いことがわかった。

[表 3]『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』開催競技場・都市の認知率(複数回答 n=6878)

開催競技場・都市	%
札幌ドーム(札幌市)	9.8
釜石鵜住居復興スタジアム(仮称)(岩手県・釜石市)	12.5
熊谷ラグビー場(埼玉県・熊谷市)	7.6
東京スタジアム(味の素スタジアム 東京都)	21.9
横浜国際総合競技場(日産スタジアム 神奈川県 横浜市)	17.0
小笠山総合運動公園エコパスタジアム(静岡県)	2.9
豊田スタジアム(愛知県・豊田市)	8.2
東大阪市花園ラグビー場(大阪府・東大阪市)	19.8
神戸市御崎公園球技場(ノエビアスタジアム神戸 神戸市)	5.0
東平尾公園博多の森球技場(レベルファイブスタジアム 福岡県 福岡市)	3.8
熊本県民総合運動公園陸上競技場(熊本県 熊本市)	3.1
大分スポーツ公園総合競技場(大分銀行ドーム 大分県)	3.8
1つも知らない	57.1

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石塚 純晃)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。生活者とお客様を「情報」でつなぎ、お客様のビジネスの成功に貢献することによって、その先の生活者の暮らしを豊かにすることを目指します。

【報道機関からのお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当

担当:石渡(いしわた)／小関(おぜき)

TEL:03-5294-6000 FAX:03-5256-2230

サイト「お問い合わせフォーム」

<http://www.intage.co.jp/contact/>

【調査データに関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 西日本支社

担当:木内(きうち)／金子(かねこ)

TEL:06-6228-0311 FAX:06-6228-1940

サイト「お問い合わせフォーム」

<http://www.intage.co.jp/contact/>